

古文書を読んで むかしの災害を調べよう

古文書を実際に解読する作業を通じて、過去の自然災害がどのように記録されてきたかを知り、今後の災害の軽減について考えます。

開催日

2023

8月8日 火

10月8日 日

ひらめき☆ときめきサイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

講義
1

「古災害研究—なぜむかしの災害を調べるのか」
古災害研究の意義を学びます。

講義
2

「くずし字解読の基礎」
後半の実習に必要な知識を学びます。

実習

「古文書を読んでみよう」
明治期の日記や安政江戸地震に関する史料を解読します。

最後に受講生それぞれが解読結果を発表し、答え合わせと質疑応答で締めくくります。



解読する史料の例
(東京大学地震研究所蔵)

※同じ内容で2回開講します。

両方を受講することはできません。

先生(代表者)プロフィール

加納 靖之 かのう やすゆき
東京大学 地震研究所 准教授

地震の研究をしています。2012年ごろから、古文書を読んでむかしの地震や災害を調べる研究をはじめました。これに関連して、市民参加型の歴史資料の解読プロジェクト「みんなで翻刻」を仲間たちと立ちあげました。



開催会場

東京大学地震研究所

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

集合場所：東京大学地震研究所1号館玄関

集合時間：10時

当日の持ち物

筆記用具、パソコンやタブレット、昼食
※パソコン・タブレットは補助的に使用します。
持参されなくても問題ありません。

お申込み方法

日本学術振興会 HP からお申し込みください。
※当プログラムは先着順にて受付を行います。

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>



ひらめき☆ときめきサイエンス



申込締切日

2023年7月21日(8月8日開催分)

2023年9月21日(10月8日開催分)